

あ る ひ

令和5年度 家庭教育学級活動報告

ひばり保育園: 歯科衛生士講話&ワークショップ



歯の大切さや歯磨きの仕方を分かりやすく、親子で歯科衛生士さんから学ぶことができました。ワークショップでは、保護者同士子育てや仕事の話で盛り上がり悩みを共感できる良い機会となりました。

元気っ子幼稚園: 親子陶芸教室



親子も作品をひとつずつ作り、「物作り」の楽しさを一緒に味わうことができました。でき上がりを待つことも、親子の楽しみのひとつとなりました。

玉里幼稚園: 鑑賞型ワークショップ 「てるてる坊主のおととそら」



園児と一緒に踊ったり、歌ったりして会場が盛り上がり、子どもたちもとても楽しそうでした。夢の世界のような鑑賞会で、子どもたちからは「バイオリンの音がキレイで、歌やおどりも楽しかった」と笑顔がいっぱい見られました。

ミーム保育園: おやこクッキング



なかなか話す事が出来ない保護者同士でお話しし、親子で関わりながらおいしいピザとミニパフェ作りができました。子どもたちが友達とどのように関わっているのかも知る事が出来、楽しい時間が過ごせました。

羽鳥小学校: 親子体操



親子体操では、ハイタッチやトンネルくぐりなどをして体と心をほぐした後、音楽に合わせて親子でダンスを踊りました。笑顔があふれる楽しい時間となりました。

ルンビニー学園幼稚園: 親子運動会



親子で体をたくさん動かし、素敵な思い出を作ることができました。祖父母や、地域の方々にも参加していただき園児たちにとって有意義な時間となりました。

すずらん保育園: おやこ食育教室



親子で朝食の大切さの話を聞いたり、おやつ作りをしました。協力しながら作った「2種類のパイ」を食べながら保護者同士の会話はずみ、楽しい時間を過ごすことができました。

はとり保育園: イトウ製菓工場見学



クッキーをいただきながら、イトウ製菓の歴史を見たり、クッキーのできあがるまでの見学をしました。「帰ったらママとクッキーを作りたい!」と親子で笑顔いっぱいの一日になりました。

訪問型家庭教育支援事業 「子育てサポーター」！ 家庭教育学級にもお邪魔しています

生涯学習課では、参加者同士が交流しやすくなる「すごろくトーク」を活用したワークショップを行っています。家庭教育学級より依頼をいただき、現在6回開催しました。参加した方からは、「仕事・家事と忙しい毎日で、悩みを話す機会もなかったので、お互い話せてよかった」「なかなか話すことがない子育ての話で盛り上がり、悩みを共感できてスッキリした」「支援員さん（応援し隊）ともっとお話したいです」と好評をいただいています。ワークショップが終わっても、皆さん話足りず会場はいつも大盛り上がりです。

【訪問型家庭教育支援事業】

子どものしつけや育て方に、迷っている・悩んでいる保護者の皆さんへ家庭の子育てについてモヤモヤしていることを「応援し隊」とおしゃべりしてスッキリしませんか。

詳細はHPを
ご覧ください



【すごろくトークとは】

すごろくて止まったマスに書いてあるお題で話をする。お子さんの話で大盛り上がりです。

チーム「応援し隊」と
おしゃべりしましょう



【子育てサポーターからのメッセージ】

毎日続く子育ては正解がなくて大変ですよ。私たちの子育ての時も毎日がバタバタで、目まぐるしかったですが、いい思い出です・・・。
“今”の子育てを頑張ってる皆さん。心配ごと、愚痴、嬉しいこと、些細な事なんでもOK！
私たちと子育てトークしませんか？

家庭教育応援ナビ すくすく育ていばらきっ子

コンテンツ

- ・子育てに役立つマンガ・動画 など
- ・家庭教育コラム・おすすめの本紹介
- ・子育て相談Q&A

・子育て相談Q&A

実際にあった質問に対する相談員やカウンセラーなどの回答を見ることができます
Q.習い事をつづけるべき？
Q.乱雑な字を書くので心配 など

茨城県家庭教育
応援ナビサイト



★親子で一緒に！早寝早起き

生活スケジュールの合わせやすさにも個人差があります。違うスケジュールに合わせるのに時間のかかるお子さんは、早めの取り組みがおススメです。

★あいさつに続くプラス「1」の言葉

「少しずつできるようになる」思い。焦らないこと。あいさつに続くプラス1の言葉を考えてみましょう。「おはよう！今日もいい天気だね♪」など

愛の記録 第58集

例年茨城県PTA連絡協議会より「よりよい家庭づくりを目指す我が家の家庭教育」をテーマに、体験事例を募集しています。令和5年度は小美玉市から31名の「愛の記録」をご応募いただきました。皆様ありがとうございます。ご応募いただいた中から、

教育長奨励賞1名、優秀賞5名、優良賞6名の方が受賞いたしました。

おめでとうございます。

県教育長奨励賞 受賞

永作 涼子

「手を繋いで歩く」

私には小三の息子と年長の娘がいる。昨年度まで夫婦共にフルタイムの仕事をしていたので、朝七時半に娘を幼稚園に連れていき、そのまま出勤。夕方は、延長保育をしてもらっている娘と学童でお世話になっている息子の迎えに行つてから六時過ぎに帰宅といった日々だった。

朝、ぐずる娘に向かつて「お母さんが遅刻しちゃうから急いで。」とせかし、「そんなにぐずぐずしていると鬼が来るよ。」とおどす。帰宅後は、息子の音読を聞いているふりをしてごはんの支度をし、「今日は〇ちゃんとお遊んだでしょうが遊んでないでしょうか。」という娘からのクイズに面倒くさいなと思いつつ適当に答えていた。私が家事をしているのに、子どもたちとテレビを見て笑っている夫にはいろいろ。

仕事と家庭の両立を目指して精一杯頑張つていたけれど、いつも何かに追いつかれていたような気持ちで余裕がなく、自分の目指す母親像とはかけ離れていた。私の理想の母親は、中秋の名月には子どもと白玉だんごを作つてお月見を楽しむようなお母さん、学校から帰つてきた子どもたちのお話を笑顔で聞きながら、一緒におやつを食べるようなお母さんだったはず……。学校で息子の調子が悪くなることもあり「もう少し子育てに専念した方がいいかも。」「子育てを楽しむのは今しかない。」と考えるようになった。私の考えに周りの人も賛同してくれたので、今年度はパートタイムで働くことにした。

朝の時間に余裕ができたので、車で三分のところにある幼稚園までの登園方法を徒歩にした。徒歩で片道二十分。来年度から歩いて登校する娘に体力もつけられるし、私の運動不足解消にもなる。娘を幼稚園に送り届けた後のことを考えて、私は自転車を押して歩き、娘はその後ろを歩く。

「ポーホケキヨ。ピチユ。ピチヨ。ピチヨ。」
山の中から聞こえてくるウグイスの鳴き真似をしてみせると、娘がすかさず真似をした。すると、山から
「ポーホケキヨ。ピチユ。ピチヨ。ピチヨ。」
と返事があった。
「うまいから、本物と間違えて返事が戻ってきたんだ。」
と喜ぶ娘。

「お母さん、見て。ジョディ(近所の犬)のおうちの玄関に、大きな古時計がある。止まっているけど、おじいちゃんは元氣そうだよかったね。」
と笑い「お〜おきなっのっぼの♪」と歌い始める娘。

毎朝、小学校の登校ポランテアをしてくださっている方に、小さな声ながら挨拶できるようになった娘。娘を送り届けて、自転車ですいすいと帰る道中は、幸福感と爽快感に満ちていた。

小雨の降る朝、車で行ったそうな娘に雨合羽を着せ、私は傘をさして歩き始めた。すると娘が手を繋いできた。「自転車がないと手を繋げるんだ。」とこの時に気づいた。道中、小指の爪ほど小さなカタツムリの赤ちゃんが無数に道にのを発見。すでに踏まれて死んでいるカタツムリも多数。

「踏まれる前に救助しよう。」
と私が葛の大きな葉に乗せると「触れれない。」と言って見ていた娘も知らないうちに手伝い始めた。両手がふさがってしまう自転車ではできないことだった。

「で〜んでんむろしむし♪」と歌いながら登園し、救助したカタツムリを先生に差し出すと
「みんなて観察しますね。」
と快く引き取ってくれた。「自転車がいない方がいいかも。坂道も多くて自転車を押して歩くのも、こいで家に帰るのも案外大変だし。」そう気がついて、この日から自転車を押しにくくのはやめた。

娘と手を繋いで歩き、梅の実を拾って香りを楽しむ。握りこぶしより大きな松ぼっくりを拾って、とげの痛さに驚く。ネジバナ、ツユクサなどの野花を摘んで観音様にお供えする。ジョディに吠えられないように通る方法を考えたり、ミミズとカエルの死骸の数を数えたりと遊びはどんどん生まれてくる。

「今日は蒸し蒸しする。でも風が吹くと気持ちがいいね。日陰はいいね。」
と自然を感じ、一丁前の会話をする娘に感心することもしばしば。

車では感じるのではない自然の音や香りや肌触り、近所の方との触れ合い。家の中にいた話題にならない植物や生き物のこと。これから季節が変われば、秋のウロコ雲やキンモクセイの甘い香り、紅葉する山の木々を感じるだろう。冬になれば、白い息をはずませて霜柱を踏みしめるにちがいない。娘とどんな話をするのかな。娘からは何の歌が飛び出してくるのかな。娘と手を繋いで歩く道。私の子育ての証となる道。

液体窒素で-196度の世界を体験

おもしろ理科先生の稲野辺 滋先生による楽しい理科実験ショーを実施し、23名の親子に参加していただきました。

液体窒素を使って、みかんを凍らし粉々になった瞬間は、会場から「すごい！なんで？」と驚きの声があがりました。液体窒素でアイスクリームも作り、理科実験でおいしいアイスに変化して、子どもたちは大喜びでした！参加者からは「子どもも大人も目をキラキラさせて楽しめました。理科という勉強なのに、生活の中にあるものに結びついて考えると、発見と驚きに繋がり、もっと知りたいと思いました」と親子で楽しみました。



▲液体窒素が会場にモクモクモク〜



どんな実験結果かドキドキ！
目が離せない！！



稲野辺 滋 先生



▲理科実験でおいしいアイスに変身！
なかよく作ってみんな笑顔😊

★市内の主なイルミネーションを紹介します★ 詳細な内容は主催・施設へお問い合わせください

① 茨城空港公園イルミネーション



茨城空港公園 小美玉市与沢1601-55
期間：12月22日(金)～2月19日(月)
時間：日没～21:00 ※期間中毎日点灯
主催：小美玉市茨城空港利用促進協議会
(事務局：小美玉市基地・空港対策課)

② 小川文化センター「アピオス」



ペットボトルで作った巨大なエコクリスマスツリーが登場！
小川文化センター「アピオス」
小美玉市小川225
あおぞらひろば(旧中庭)
期間：12月2日(土)～12月24日(日)
※毎週月曜日は休館日



③ そ・ら・ら クリスマスイルミネーション



◀そ・ら・らイルミネーション
空のえき「そ・ら・ら」 小美玉市山野1628-44
期間：11月30日(木)～12月25日(月)